

国内実態調査報告書

テーマ : 広島地域経済調査
ゼミ名 : 鯉淵 賢ゼミ
調査日 : 2019年10月31日(木)～11月2日(土)
調査先 : マツダミュージアム、東友会協同組合、日本銀行広島支店
授業科目名 : 演習Ⅱ
参加学生数 : 7名(3年生)

調査の趣旨(目的)

西日本および中国地方の中核都市である広島市における自動車産業を中心とする地域経済に関する実態調査を実施する。

調査結果

西日本の中核都市の1つである広島市において大手自動車メーカーであるマツダを中心とする自動車産業の役割は大きい。本調査では、マツダ本社のマツダミュージアムを訪問して工場見学と近年のマツダの経営戦略、特に製品デザインの革新と環境問題への取り組みについてレクチャーを受け学んだ。また、マツダ向け部品メーカーの組合である東友会協同組合を訪問し日本企業における伝統的なサプライヤー関係と近年の進化について知見を得た。また、日本銀行広島支店を訪問し、広島地域の地域経済と中央銀行支店の役割について学んだ。